

氏名	取り組んだ日	年	月	日
----	--------	---	---	---

自分をアピールするケースとして、①口頭で行う場合（面接など）、②文章で行う場合（履歴書、作文など）があります。緊張してもうまくアピールできるよう、文章にまとめておくとよいでしょう。

アピールするといっても、「私はねばり強いです」というアピールだけでは、どれくらいねばり強いのかということが相手には伝わりません。自分をアピールするときには、具体的なエピソードなどを交えると相手に伝わりやすくなります。たとえば、右の例文のように、エピソードの有無によってアピールしたいことの伝わりやすさや説得力はかなり違ってくることが理解できると思います。

ここでは、いくつかの手順に従って、100字で自分をアピールする練習をしていきます。就職しようとする会社に自己アピール文を提出することを想定しながら取り組んでみましょう。

〈エピソードがないアピール〉

私はねばり強く物事に取り組むことができます。誰よりも負けず嫌いであり、困難なことがあっても、最後まであきらめることはありません。どんなことでも高い目的意識をもちながら取り組んでいくのが私の長所です。

〈エピソードがあるアピール〉

ねばり強く取り組むことが私の長所です。国際社会で活躍するという目的ができたときから毎日1時間は英語の勉強を続け、英語検定1級を取得しました。目標を決めたら、その達成まで努力を続けることができます。

手順① ペア（2人1組）をつくってください。このワークシート以外に、アドバイスシートを用意してください。また、下書きなどをするために、ノートなど別の紙も用意してください。

手順② GETで示された8つの性格の中から、自分でアピールしたいと思うものを1つ選び、GETで判定された段階であてはまるものに○印をつけましょう。（例：誠実性 低い・やや低い・平均的・やや高い・**高い**）

選んだ性格	低い ・ やや低い ・ 平均的 ・ やや高い ・ 高い
-------	-----------------------------

手順③ 選んだ性格をよく表しているような具体的な事実を書きましょう。（例：英語検定1級をとるまで努力を続けた）

具体的な事実	
--------	--

手順④ 手順③の具体的な事実に至ったきっかけ・動機を書きましょう。（例：国際社会で活躍したい）

きっかけ・動機	
---------	--

手順⑤ 手順③の具体的な事実を裏づけるようなエピソードを書きましょう。（例：毎日1時間は勉強に取り組んだ）

エピソード	
-------	--

手順⑥ 具体的な事実、きっかけ・動機、エピソードを交えながら、100字以内で自分をアピールする文章を書きましょう。

手順⑦ ペアになった人にアピール文を読んでもらいましょう。そして、下記のポイントについて評価してもらおうとともに、□に✓印をつけてもらいましょう。

	たいへん よくできました	よくできました	がんばりました	もう少し がんばりましょう
誤字や脱字がなく、ていねいに書いているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
わかりやすくまとめているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
エピソードを効果的に用いているか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アピールが相手にしっかりと伝わる文章であるか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>